

中山農村歌舞伎

中山農村歌舞伎は、江戸時代から春日大社へ奉納するために演じられた、小豆島の伝統的な歌舞伎です。島の地主たちが伊勢神宮で参拝を終えて加美北（近畿地方）で鑑賞した歌舞伎を小豆島に持ち帰ったと言われています。演者、大道具等すべて地域住民が行っています。中山農村歌舞伎の舞台は、いくつかの歌舞伎の舞台装置が備わった、伝統的な藁葺き屋根の日本家屋にあります。

中山農村歌舞伎は 1975 年に香川県の無形民俗文化財に指定され、その劇場は 1987 年に国の有形民俗文化財に登録されました。